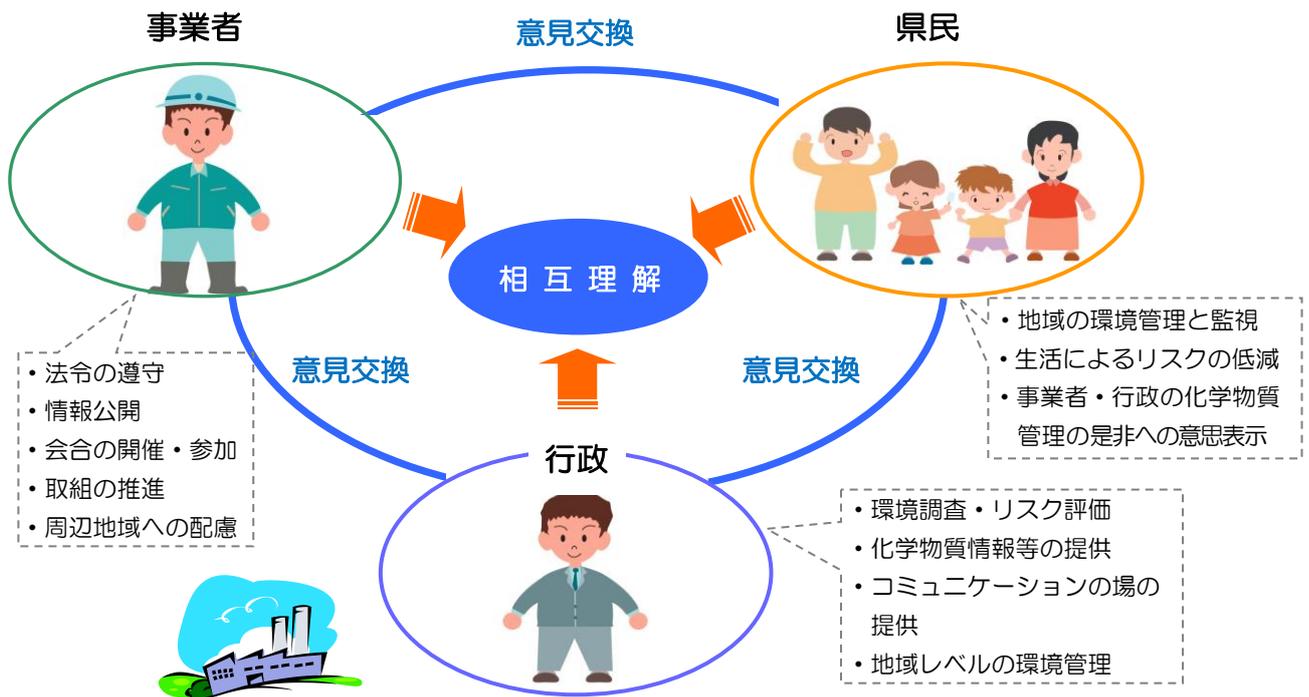


リスクコミュニケーションについて

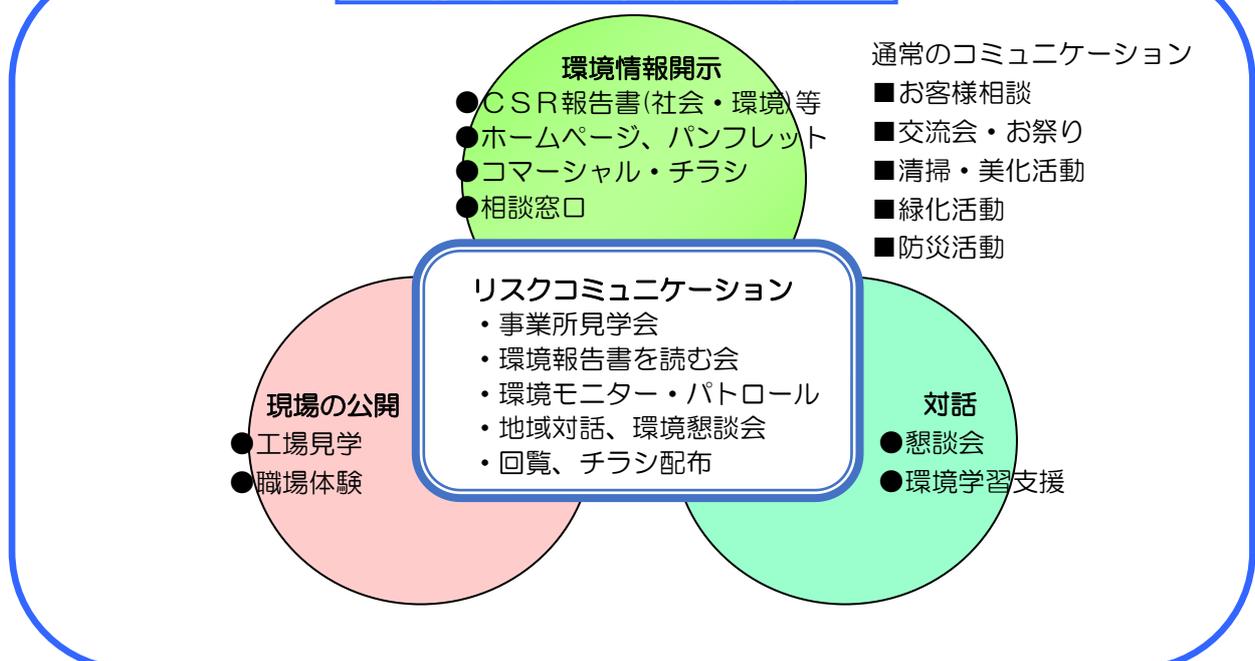
人々の健康や生態系に悪影響を及ぼすおそれ（環境リスク）を低減させていくためには、化学物質に関する情報や知識を事業者・県民・行政が共有することが重要になります。こうして化学物質に関して、お互い意見交換などを行い、意思疎通を図っていくことを「リスクコミュニケーション」と呼んでいます。

リスクコミュニケーションの形態は様々です。県民・事業者・行政がお互いにコミュニケーションを図ることができれば、形式にはこだわらず、通常のコミュニケーションから展開していても良いのです。

リスクコミュニケーションの概要



様々なコミュニケーションの形



※参考資料：平成 23 年度化学物質総合評価管理研修資料（（独）製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター）